

毎日新聞

今日より三日間休業
(第三工場を除く)
大正十年六月九日
藤永田造船所

固く鎖した正門に 休業の大貼紙

いよく慢性状態となった
藤永田造船所の争議

大阪藤永田造船所の労働争議は既報の通り愈々甚劇で九日午後三時間の休業を遂行することとなり工場附近の要所々に此旨の標旗を出した上面く鎖した本工場の正門にも

今九日より三日間休業
(第三工場を除く)
大正十年六月九日
藤永田造船所
昨職工諸君へ手紙を出しました
三日以内に何等御出直し方は就
来の出来ない方をとります

つてゐたが一方敵軍分工場に連ぶ職工は木津川尻の同工場まで来て今日には工場のランチが出てゐないので川岸の露場に集まり露記泉尾小學校に集つた本工場の職工も之に参加し警衛隊の解散命令に應ぜず労働歌を高唱したり演説をやつたりして時を殺す程に午前九時過には約千五百名となり對岸に住む職工約五百名も向川岸に集まり兩々對峙して氣勢を上げてゐたが對岸の團體は警戒中の最盛警衛隊五百六十名から解散を命ぜられて小ゼリ合をした後大正備方面に向ひ之と合併すべく西岸にゐた千五百名の職工も同様警衛隊を撃つて北進し労働歌を高唱しつゝ本工場及び水田社長の邸宅前を練り大正備で雙方一團となり生官公園で運動會を開催すべく今宮街道に出て徒歩で住吉へ向つた

終に解散を命ぜらる

検査者を取戻さうと
住吉署へ殺到した

斯くて午後二時に至るや大木警察官は三百名の正警隊を圍へて現地に突進し來り「此處を以て公衆を害するものも認めるから解散を命ぜらる」と宣言したけれど職工團は容易に其言を去らなかつたが幾々午に位置を多して同公園四方の小さな丘の上に集合したので警隊は再びコレに解散を命じ重立つたもの數名を捕獲せんとした約二十分間彼地此地に捕獲を繰り返されたが幸ひどちらにも負傷者を出さず職工側は萬歳を唱へて解散し内五百

過激と配布者檢舉

検事局と打合して活動

藤永田造船所の労働争議に就き八日朝汽車會社や大阪職工所や住友製鋼電機等の各工場へ同團體書を促すが過激な宣傳どうを懼いたものがあるとは既報の通りであるが同日大阪府警部の加々美特高課長、田口刑事課長は相携へて若行検事を大阪地方裁判所に呼び參議を察らす處があつた、其結果意見へて九日早朝から田口刑事課長は竹田、池田の兩警部其の他を隨へて朝日職警に出陣し右宣傳ビラの檢舉に着手し大阪職工所の瀧野久司、汽車會社の阪本重蔵、住友龍驤の菅五周益外七名を同署に検束し更に刑事隊を各所に派し徹底的檢舉に力めて居る、爲に各工場は惴々たる状態である

同情決議書を 知事と會社へ

八日朝生官公園で開いた瀬戸労働大會の委員栗田實大尉外三名は既記藤永田造船所職工に對する同情的決議書を携へて九日朝米阪、池田大阪府知事及藤永田造船所にコレを提出した

住吉高燈籠西手の 廣場で協議を凝らす

二千五百の大衆

會社の今回の態度は我々に對して自由行動に出つべく突き放したもののなれば此本會社に對して交渉を網する必要は全くなくなつたわけであるが我々は此自由行動に出るさいふこまな好まない、何處迄も團結を固くして秩序を保つ事に當りたいと思つて居る

藤永田造船所で 建造中の一驅逐艦

今度の争議で竣工が遅れる

藤永田造船所は日本海軍の命令をなすり驅逐艦わらび六号の二隻を建造中であるが今回の労働争議で工事に非常の遅延を生じた上更に九日から三日間の臨時休業で竣工期約二箇月間延滞するまゝである、斯く引渡延期が連れるとすると艦隊編成に影響を及ぼすまいか又會社側は軍事に對しては納税金を納附しなければならぬが此點はトクであるが、コレにつぎ九日午前茶飯した東京車庫警備官

場合には少しは異工廠から職工の 融通がつかふと思ふが新の線なことを は未だ前例の無いこと年首を繰 詰した後でなければ難答しされる 又それ程遅くなくとも何と解決 はつくと思つて居る、艦の引渡延 期は無題罪しむべきこと出陣 、併しそれがために艦隊は成に おぼろを生ずるといふ程の大問題で ないから此際程度の遅延は致し 方ないものと思つて居る、從つて 違約金の問題も表面から論じ立て れば徴収しなければならぬことに なるがこれも最終的解決すべき事柄 がある故何程を致すか分らない 契約面から言へば二三日の遅延 百圓と思つて居る

向大佐は同日職警すべき密に
藤永田造船所を見参し住友事務所
連に明兵工廠勤務の後土京十七

山中同情休業

大阪西區春日町山崎製糖所の職工約百名中十五名の幹部連は八日夜同所宅に會合し會社に對して同團體決議を承認する事

現在の手配は未だ解決に 動向時間短縮する事 を要求するも共に藤永田の職工に 同情的意見をなす事を出し九日會 社に對して前記の條件を提出した

現在の手配は未だ解決に動向時間短縮する事を要求するも共に藤永田の職工に同情的意見をなす事を出し九日會社に對して前記の條件を提出した